

## 議 事 録

件 名	平成28年度第1回大網白里市環境審議会
日 時	平成28年12月15日(木) 10:00~11:20
場 所	大網白里市役所 別棟2階大会議室
出席委員	鈴木弘孝(会長)、内山佐智子、上田弘子(副会長)、桑田健二、板倉功尚 矢部慎一、石井敏夫、木田進、石井勝
欠席委員	小栗山喜一郎
事務局	地域づくり課 鶴岡課長、岡部副課長、佐久間班長、稲生副主査
配付資料	別添のとおり
内 容	<p><b>【1 開会】</b> 進行：事務局（地域づくり課 岡部副課長） 別紙次第のとおり</p> <p><b>【2 市長あいさつ】</b> 金坂市長</p> <p><b>【3 委嘱状交付】</b> 市長から各委員へ委嘱状を交付</p> <p><b>【4 審議会会長、副会長選出】</b> ※大網白里市環境審議会条例第4条第2項により、委員の互選により選出。⇒ 鈴木弘孝委員を会長、上田弘子委員を副会長に選出。</p> <p><b>【5 市長より諮問】</b> 市長より鈴木会長へ諮問書を提出。</p> <p><b>【6 議題】</b> (1) 第2次環境基本計画策定について 資料に基づき事務局より説明。 《質疑応答》 質問なし</p> <p>(2) 市民意識調査の調査結果について 資料に基づき事務局より説明。 《質疑応答・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケートの設問で川や水路、海について評価が低いですが、ただ川にごみが浮いているとかの見た目なのか水質が悪いのか、また砂浜についてごみが落ちていることを言っているのか管理が悪いのか伝わり難かったと思います。</li> <li>・3Rの言葉を知っているとしている回答がとても多くて驚いている。関心が高くなっているのではと思う。</li> <li>・環境基本計画は概要版を作っていますが、そのような子ども版みたいな冊子を作り配ることができればと思います。子どものころからの環境教育</li> </ul>

が必要なのはみなさん分かっていると思いますので。

⇒小さいころからの学習については良いことなので参考とさせていただきます。3Rに関しては、学校で周知を行っていただいているのでそれが表れていると思います。アンケートの設問については、平成17年からの感覚など対比ができるようあまり変えずに実施しました。

・水質調査結果などのデータはありますか。

⇒大きな川についてのデータはありますが、水路等については調査を行っておりません。

・昨年南白亀川で大量に魚が死んでいることがあり、河口から川を遡り調査をしたことがございます。たぶん貧酸素であったと思いますが、生活雑排水が流れ込んで細い水路で魚が死んでいるところもありましたので、浄化槽の普及でご尽力いただいておりますが、改善は大変だと思いますが、取り組んでいかないといけないことであり、市民の方々も家族での会話など話し合ったりしていかないと改善につながらないので、知識を身につけて自分の問題と考えるもらわないとなかなかよくなると思います。

・子どもたちと川の流れがどのようになっているのかを調べ11年目の結果がでました。上流の方から水質検査や生物調査を毎年行っています。私たちが細々と小中川など限定されたところで調査をやっているが、もっと市民の方々を巻き込んで分かれて調査が広くできたらと思っている。年々水の汚れが目立ってきて、不法投棄も見られている。生物も減ってきてきているというか外来種が増えている。個人では対応できないので何か対策を考えなければいけない。カメやザリガニなど多く見られるようになった。

・カミツキガメは、捕獲したら冷凍しなければならず処分は、一般廃棄物として処理することになる。不法投棄も産業廃棄物として処理しているが、なかなかやりきれないことになってきているので、市民の目も必要で地域環境は自分たちのものだと意識してもらおう。

・国交省で行っている河川水辺の調査が一番信頼性が高い調査と伺っているがそのような情報を得ることがとても大事。

・生活雑排水なんかもちょっとしたこと、洗剤の泡がそのままできているなどちょっと意識すればだいぶ違ってくると思うので、いろんな団体が行政にお願いしますではなくて、市民の役割があるのかなと思う。

・外来植物のオオキンケイギクを知らない人が多く未だにきれいと言って増やしている人がいる。道端などでもよく見かける。何が良いか悪いかが分からない人もいる。

・ごみゼロなどでも清掃だけでなく集まりがあったときにいろいろ周知して、小さな活動でも違ってくるのではと思う。

・まず知らしめることが大事だと思います。

・里山には人の手が入っていますか。

・実際には、里山というか山林は、高齢化もあり山がそのままの状態になったりして病気が出てきている、燃やすこともできないので荒れてしまっている。材木が安いのでそのままになっています。

・緑が多いと意見がある一方で、中に入ると荒れてしまっていて、人の手が加わって森林が維持されるのであるが、自然の保護と言うより今は自然管理という状態ですね。

・ジャンボタニシに困っている。外来種でピンク色の卵のものがすごい勢いで広がっている。

・さんむ杉なども木の下の方の手入れをしないと風が抜けなくなり病気になってしまいます。

・間伐材などを利用した循環型というのもあるが非常に難しい状況にあるのですね。

・アンケートをこれからの計画に反映してもらいたい。

(3) その他

なし

【8 閉会】